



# ADRC Highlights

Vol.18

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

February 16, 2001

## ▶ 防災展示場オープン！！ □ 防災技術に関するデータベース

防災に関する技術は広い範囲に及びます。例えば、被災構造物から人命を救助するためのジャッキ、家具の転倒防止用器具、避難所での仮設トイレ、飲料水のための水浄化装置、ビルの免震装置などの機械・装備類、衛星を用いた通信システムや災害管理のための防災 GIS、被害想定システム、予知技術など、非常に多くの技術や機器が存在します。



これらの技術や機器は開発が容易ではないものの、社会全体の防災力向上のために有用であり、地方公共団体や民間企業さらには NGO や

一般家庭など多くの人々にこれらの技術や機器を知ってもらい、マーケットを広げることが重要です。

技術や機器をアピールするものとしては、東京や神戸などで防災技術や機器の展示会が、阪神淡路大震災以降何度も開催されています。しかし、それらは年に数日間のイベントであるため、効果は来場者に限定され、遠隔地の防災関係者はなかなか知る機会に恵まれません。また、表 1 の来場者数をみると、多くの人々が展示会を訪れたかにみえますが、実際には消防のイベントやシンポジウムなどと合算された来場者数が記録されるため、防災技術や機器の展示を見た人は数割に過ぎません。

図表 1 災害関連展示会の概要

場所	展示会名	会期	来場者数	出展社数	小間数
東京	東京国際消防防災展	94.10.1~10.16	189,365	328	1,105
	防災市民フェア	98.6.4~6.9	214,064	260	1,380
	防災市民フェア	96.4.25~4.28	15,179	75	200
	災害救助フェア 2000	97.4.23~4.27	194,199*	46	100
神戸	第 1 回震災対策技術展'97	00.4.20~4.23	51,668	70	900
	第 2 回 '98	97.1.16~1.17	4,264	130	230
	第 3 回 '99	98.1.13~1.14	3,220	115	215
	第 4 回 '00	99.1.13~1.14	3,830	120	135
		00.1.27~1.28	3,479	59	81

\*「ゲッドリビングショー」と同時開催であったため、来場者数は同時カウントしたものと見なされています。

## □ ADRC インターネット仮想展示場

防災技術や機器を集めたデータベースを構築し、2001 年 1 月 17 日よりインターネットを使っていつでも見ることができる防災技術・機器の仮想展示場をオープンしました。これにより、ホームページ訪問者が 30% 程度増加し、1 日平均 200 人が ADRC ホームページを訪問しています。  
[防災技術展示場の入り口](#)は ADRC のウェブサイト内に

設置しています。メニューは時間軸(災害軽減、災害予防、応急対応、復旧対策)と技術・機器で区切っており、来場者は自分の興味分野に従ってメニューを選択あるいは商品名などで検索し、各技術や機器の説明を見ることが出来ます。さらに詳しい情報を求めたい場合には、その会社のホームページへ移動したり、e-mail や電話や fax で直接コンタクトをとることができます。

この仮想展示場への出展料や維持手数料などは無料で、自社のホームページを持たない企業でも参加が可能となっています。現在では 40 社 150 アイテムが出展していますが、さらに出展企業を募集し、防災技術や機器の総合案内ページになることを目指しています。どうぞ、お知り合いの企業をご紹介ください。

連絡先は [arakida@adrc.or.jp](mailto:arakida@adrc.or.jp) です。

## ▶ 世界防災会議 2001 開催

2001 年 2 月 5 日、6 日の 2 日間、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた淡路島において、自然災害による被害の軽減、防災対策等についての国際協力を考える会議が、国連や世界銀行、経済協力開発機構(OECD)、日本政府、兵庫県、アジア防災センターなどの主催で開催されました。

この世界防災会議 2001 は、世界銀行、OECD、国連(ISDR=国際防災戦略)が初めて一堂に会し、防災や災害復興に対して活発に意見を交換し合うものとなりました。

阪神淡路大震災や世界各国の大災害の事例報告や議論を通じて、OECD、世界銀行、国連は自然災害発生時の具体的な協力方法について検討し、災害に強いまちづくりのため、それぞれが他の機関から学びあい、コミュニティベースでの持続可能な開発を念頭に、協力を行っていくことが話し合われました。

## ▶ アジアにおける最新災害情報

### □ エルサルバドルでまた地震が発生

2 月 13 日 14 時 22 分 (GMT)、マグニチュード 6.6 の地震によって、エルサルバドルの San Vicente, la Paz, Cuscatlan などを中心に被害が発生しました。アメリカ地質学研究所(USGS)によると、震源は首都サンサルバドルの東南東 20km と推定されています。

2 月 15 日現在の最新の被害状況によると死者は 274 人、負傷者 2,432 人に及んでいます。また 141 の家屋が倒壊し、被災地域の 4 つの病院が損壊しました。グアテマラの国境付近にある Santa Ana 県では Santa Ana 大聖堂が被害を受けています。

多くの市において、土砂崩れによって道路が通行止めになり、1 月の地震後修復中だった Pan-American Highway もさらに被害を受けたと報告されています。

(2/13~15 OCHA Situation Report など)

### □ インドネシアで相次ぐ災害

2 月 10 日、東ジャワの Lebak で地すべりと洪水が発生しました。およそ 100 人の死者が出たと報告されています。また、2 月 10 日には中部ジャワのムラピ山(標高 2,968m)で火山活動が活発化しました。噴煙が噴き上げ、火砕流が発生したため、山麓の住民数百人が避難をしています。

さらに、2 月 14 日午前 2 時 28 分(現地時間)、スマトラ島 Bengkulu でマグニチュード 7.3 の地震が発生しました。震源は Bengkulu からおよそ 21km 南西の深さ 80 km のインド洋で、2 月 15 日現在被害の報告はありません。

(2/14 OCHA Situation Report など)

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行：Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHDビル3F

E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行(予定)